



(c)FUJIWARA Koichi



(c)FUJIWARA Koichi



(c)FUJIWARA Koichi

海

と

その環境を感じる
シンポジウム

海を感じ、海を知る

～さまざまな海を体験し、海を好きになることが地球環境を守る

2024年7月7日(日)

10:00～16:30

入場料無料

要事前申込み

会場 学習院女子大学

お問い合わせ

学習院女子大学 環境教育センター
gwc-jsee@gakushuin.ac.jp



HP

申込みはこちら



申込み締切 6月23日(日)



学習院女子大学
Gakushuin Women's College

海を感じ、海を知る

さまざまな海を体験し、
海を好きになることが地球環境を守る

— 開催趣旨 —

私たちは「海」のことを知っているのでしょうか。四面を海に囲まれている日本、あって当たり前の存在であります。本当に海を感じているのでしょうか。私たちの暮らしは海なくしては語れない密接な関係があります。多くの生き物を育てている海、気候や気象に関わり日本の風土を生んだ海、多くの資源をもたらす海、憩いの場としての海など、海は地球になくしてはならない存在であり、昔から多くの恩恵をもたらし、繋がりあった存在です。しかし、その「海」を私たちは大切にしているのでしょうか。「海」の価値を認識しているのでしょうか。

そのような危機から海の教育や海の環境の重要性が叫ばれているものの、多くは知識の押し売りや表層的な情報の提供にとどまり、「海」の辺縁に隠されているさまざまな学びの機会、知恵や伝統に培われた奥深さを感じる機会が忘れられているように感じます。

これまでの「海を教える教育」を見直し、「海を感じる教育」へ。さらには、その先の「海を意識する教育」へ。「海」に対する感謝の念や自然観、海に対する五感を耕しながら、生きる力、考える力、文化や未来を創造する力を育成したい——。私たちは見失われつつある日本人の感性を見つめ直し、「海は命なり、海は社会なり、海は地球なり」を意識できる人間教育を目指します。

開催内容

基調講演

10:00～11:20

① 海とその環境に関する基調講演

藤原 幸一（水中・生き物写真家）

「世界最古の森が豊かなサンゴ礁を造り、そこで生まれたクジラが南極の豊かな海に向かう」

② 海の教育に関する基調講演

品川 明（本学教授・環境教育センター所長）

「海の教育の大切さ～感じる授業の楽しさとその意義」

海を感じるワークショップ

各定員40名

11:35～12:35（午前の部）／13:40～14:40（午後の部）

Aコース	Bコース	Cコース
海と資源	海の生き物	海の今昔
01 海を使う 熊谷 英憲	01 甲殻類の不思議 品川 明	01 縄文人のアクセサリ貝の腕輪を作ろう 工藤 雄一郎
02 海中海底の環境と生物 牧田 寛子	02 メスモハサミも使わない煮干しの解剖 橋本 啓吾	02 サンゴのテリトリーウォーズ 平井 和也

A・B・Cコースのうち1コースに参加可能です

※事前予約制 ※内容は変更される可能性があります

パネルディスカッション

ファシリテーター

○熊谷 英憲
（本学教授）

パネリスト

- 藤原 幸一
- 平井 和也
（海・川のビジターセンター所長）
- 牧田 寛子
（東京海洋大学准教授）
- 橋本 啓吾
（都立大島海洋国際高校教諭）
- 工藤 雄一郎
（本学教授）
- 品川 明

参加対象者

- 本学を志望する高校の生徒および教職員
- 本学・学習院大学学生および教職員、学習院各科の教職員
- 他大学の教職員および学生
- 漁業や海に関わる方
- その他、海に関心のある方

日時

2024年7月7日（日） 学習院女子大学
10:00～16:30（開場 9:30） 東京都新宿区戸山3-20-1

主催

学習院女子大学 要事前申込み

参加方法

申込締切

2024年6月23日（日）

お問い合わせ先

学習院女子大学 環境教育センター
gwc-jsee@gakushuin.ac.jp

申込受付について

- ・当日のご案内は参加者に別途お知らせ致します
- ・昼食は持参して下さい
- ・ワークショップ受講は、ご希望に添えない場合もあります

アクセス情報

東京メトロ副都心線「西早稲田」駅下車、
3 番エレベーター口 徒歩 1 分
東京メトロ東西線「早稲田」駅下車、徒歩 10 分
JR 山手線・西武新宿線「高田馬場」駅下車、徒歩 15 分

